

第3章

「財政見通し」と 決算見込額との 比較分析

1 計画額と決算見込額との比較

(単位：百万円)

歳入（一般財源）	2018年度（平成30年度）			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	89,505	99,358	9,853	
市税	67,499	68,407	908	徴収率の向上などにより、計画額を上回りました。
譲与税・交付金等	11,447	12,564	1,117	主に地方交付税が増加したことにより、計画額を上回りました。
基金繰入金	3,616	4,035	419	財政調整基金繰入金が増加したことにより、計画額を上回りました。
その他	6,943	14,352	7,409	前年度繰越金が見込みを上回ったほか、臨時財政対策債なども計画額を上回りました。

(単位：百万円)

歳出（一般財源）	2018年度（平成30年度）			計画額と決算見込額との比較分析
	計画額	決算見込額	差引	
	91,195	97,325	6,130	
義務的経費	40,562	40,283	△ 279	
人件費	20,529	20,642	113	人件費は、退職手当及び嘱託員・臨時職員人件費は計画額を下回る一方で、正規職員の人件費が計画額を上回り、人件費総額として計画額を上回りました。
正規職員	17,779	18,018	239	
うち退職手当 （定年退職者分）	1,152	966	△ 186	
嘱託員・臨時職員	2,750	2,624	△ 126	
扶助費	13,543	13,053	△ 490	生活保護費、児童福祉費、社会福祉費などが計画額を下回りました。
公債費	6,490	6,588	98	利子償還金が計画額を上回りました。
その他の経費	50,633	57,042	6,409	
繰出金等	18,344	15,710	△ 2,634	国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、下水道事業会計、後期高齢者医療事業会計への繰出金が計画額を下回りました。
事業費	32,289	41,332	9,043	
経常事業費	22,957	31,252	8,295	財政調整基金や公共施設整備等基金への積立金などが計画額を上回りました。
政策的事業費	7,065	8,088	1,023	
1 将来を担う人が育つまちをつくる		1,663		町田第一中学校や鶴川第一小学校の建替え、小学校屋内環境の整備、保育園や子どもクラブの整備などを行いました。
2 安心して生活できるまちをつくる		1,031		がん予防対策として各種がん検診等の実施、障がい者の相談支援、住宅の耐震化支援、玉川学園コミュニティセンターの建替え整備などを行いました。
3 賑わいのあるまちをつくる		1,894		南町田駅周辺地区の拠点整備や、野津田公園、薬師池公園、芹ヶ谷公園の整備、緑ヶ丘グラウンドの整備やシティブロモーションの取り組みなどを行いました。
4 暮らしやすいまちをつくる		1,166		循環型施設の整備、道路の整備、鶴川駅周辺の街づくりに向けた取り組みなどを行いました。
5 行政経営改革プラン		51		「町田市公共施設再編計画」の策定に向けた取り組みや、事務事業の見直しなどを行いました。
6 公共施設維持保全事業		954		市民センター、集会施設、小・中学校などの公共施設の長寿命化工事や、橋梁改修工事などを行いました。
7 その他		1,328		多摩都市モノレール駅周辺の基盤整備等に向けた基金への積立て、先進的に英語教育を推進するための取り組みなどを行いました。
システム経費	2,267	1,992	△ 275	システム経費は計画額を下回りました。
歳入一歳出 （＝収支差額）	△ 1,690	2,033	3,723	

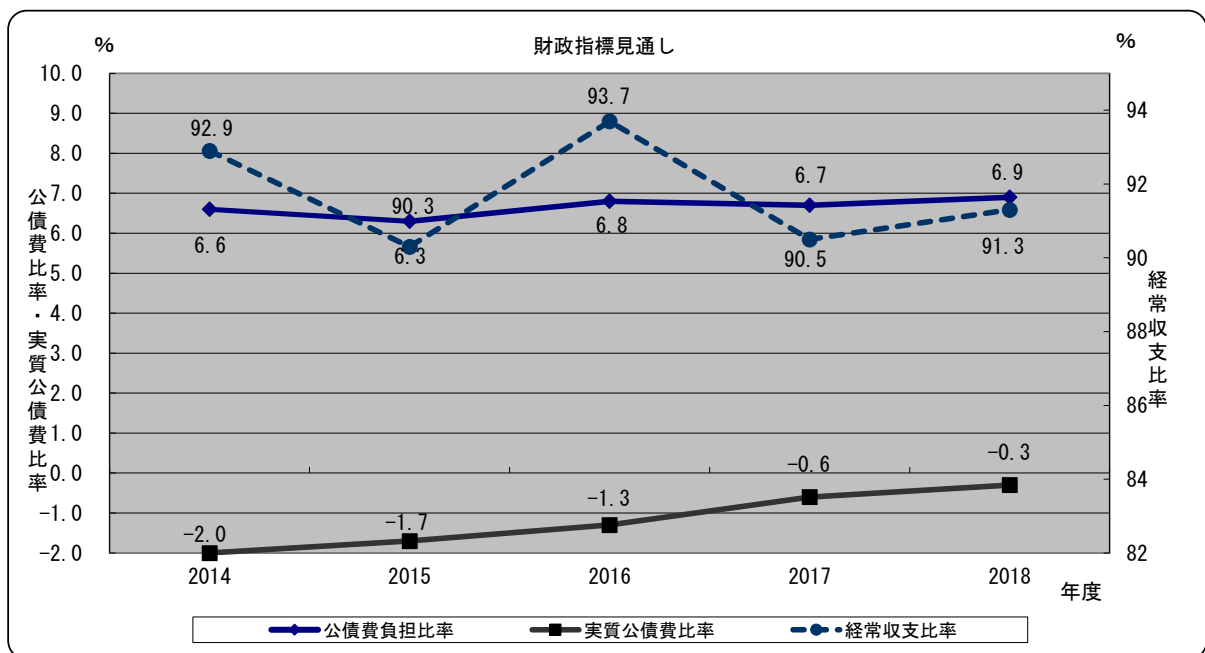
2 2018年度の財政指標

各財政指標は、暫定値です。

	2018年度（平成30年度）			計画数値と決算見込数値との比較分析
	計画数値	決算見込数値	差引	
経常収支比率（％）	93.0	91.3	△ 1.7	分母に算入される臨時財政対策債や地方交付税などの増加により、計画数値を1.7ポイント下回りました。
公債費負担比率（％）	7.3	6.9	△ 0.4	分母に算入される臨時財政対策債や地方交付税などの増加により、計画数値を0.4ポイント下回りました。
実質公債費比率（％）	0.0	△ 0.3	△ 0.3	公営企業（病院、下水道）を含む市全体の実質公債費比率は、適正範囲内です。
財政調整基金 年度末残高（億円）	75	(※) 95	20	年度内の財源調整などの理由により、計画数値を上回りました。

(※) 財政調整基金の年度末残高は、2019年(令和元年)5月31日現在のものです。

- ◆経常収支比率……市税などの経常的な収入（分母）が、人件費や扶助費などの経常的支出（分子）にどの程度充てられているかを表す指標。この数値が高いと、自由に使える金額が少ないことを意味します。
- ◆公債費負担比率……公債費（市債の償還に要する経費）が市の財政に占める割合。この比率が高いと、借金の割合が高いことを意味します。
- ◆実質公債費比率……一般会計だけでなく、市民病院や下水道などの公営企業会計を含んで算出した市全体の公債費比率のこと。この数値が25%以上になると、「財政健全化計画」の策定が義務付けられます。
- ◆財政調整基金……大幅な収増や決算剰余金が生じた場合に積み立て、財源不足が生じた場合取り崩すことにより、年度間の財源を調整し健全な財政運営を図ることを目的とした基金（積立金）です。



町田市5カ年計画17-21 2018年度の取り組み結果

2019年8月発行

発 行 者 町田市
〒194-8520
町田市森野 2-2-22
042-722-3111
編 集 政策経営部経営改革室
刊行物番号 19-22